



シャインパール

WORLD. RICE

7

JA福井県

【No.1】

1. R7シャインパール作付状況

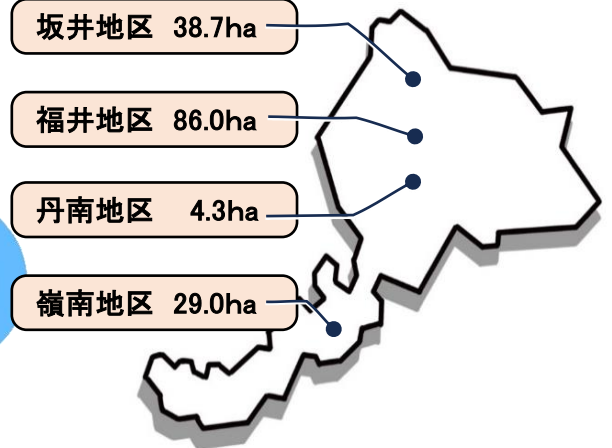
シャインパールは、JA福井県と福井県が新たな需要を開拓するため、輸出専用米として農業試験場が育成しました。大粒で白く輝く外観を品種名にしています。JAでは生産調整の一貫として作付けを推進中です。今年度の栽培状況は56名・158.0haです。

シャインパール(輸出用米)は、



敦賀港から世界へ

R7作付けJA合計 158.0ha



2. 多収米協議会を設置

JAでは多収性品種の作付け拡大と増収による農家所得の向上を目指して、多収米の推進に取り組んでいます。今年度、新たに多収米協議会を設置し生産者への栽培支援の強化と多収穫技術の確立を目指します。



【4月17日 生産者代表を交えた多収米協議会の様子】

①R7 多収米協議会の単収目標

- シャインパール: 10.5俵

②シャインパール収量向上支援

- 各種研修会の開催
(栽培研修会・作見会)
- 栽培情報発信 (JAコネクト)
- 収量向上試験の実施

3. シャインパール栽培のポイント

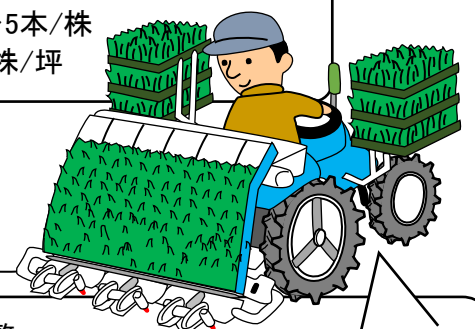
【田植えのポイント】

- ① 健苗を育てる(初期生育の促進)
- ② 圃場の均平(水管理を容易にし、除草効果を高める)
- ③ 田植機の調整(作業効率の向上、欠株防止)
- ④ 天気の良い日を選ぶ(植え痛みが少なく、活着が早い)

シャインパールの田植え

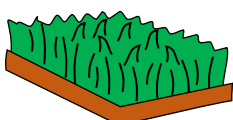
- 田植え時期: 4月23日～5月5日
- 本数: 4～5本/株
- 株数: 60株/坪

R6は、60株/坪植えが
高単収でした!



田植え機の施肥量(開度)の調整

- 肥料 : 中晩生一発(比重0.84) ● 施用量 : 普通田40kg
- 田植機の開度表により施肥量を調整する。圃場条件等で施肥量が変動する場合があるため、田植え面積での投下量を確認する。



★ 水稻苗は田植え
3日前から外気
にならしましょう。